

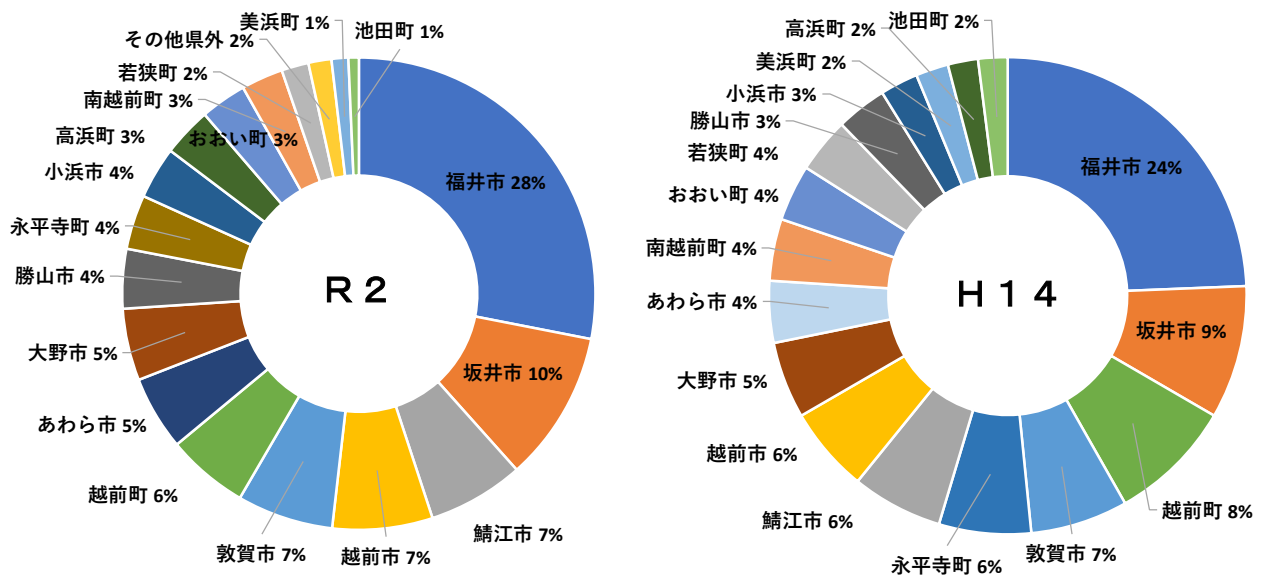
「福井県の道路についてのアンケート」調査 結果概要

1 アンケート実施概要

1.	調査目的	道路に関する県民の意識を把握し、今後の施策の参考とする
2.	調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・道路に関する意識について ・今後の道路整備について
3.	調査時期	令和2年7月1日～31日
4.	調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市町役場(支所)、土木事務所、道の駅にてアンケート用紙の配布(3,000枚)、回収 ・福井県道路建設課HP上インターネット回答
5.	回収結果	有効回答数(率)・アンケート用紙：919人 ・インターネット回答：480人 合計：1,399人
6.	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・道路に関する世論調査(内閣府H28.7)に準拠 ・現行のビジョン(平成16年1月)策定時にも同様なアンケートを実施(H14.3) ※1,363人回答

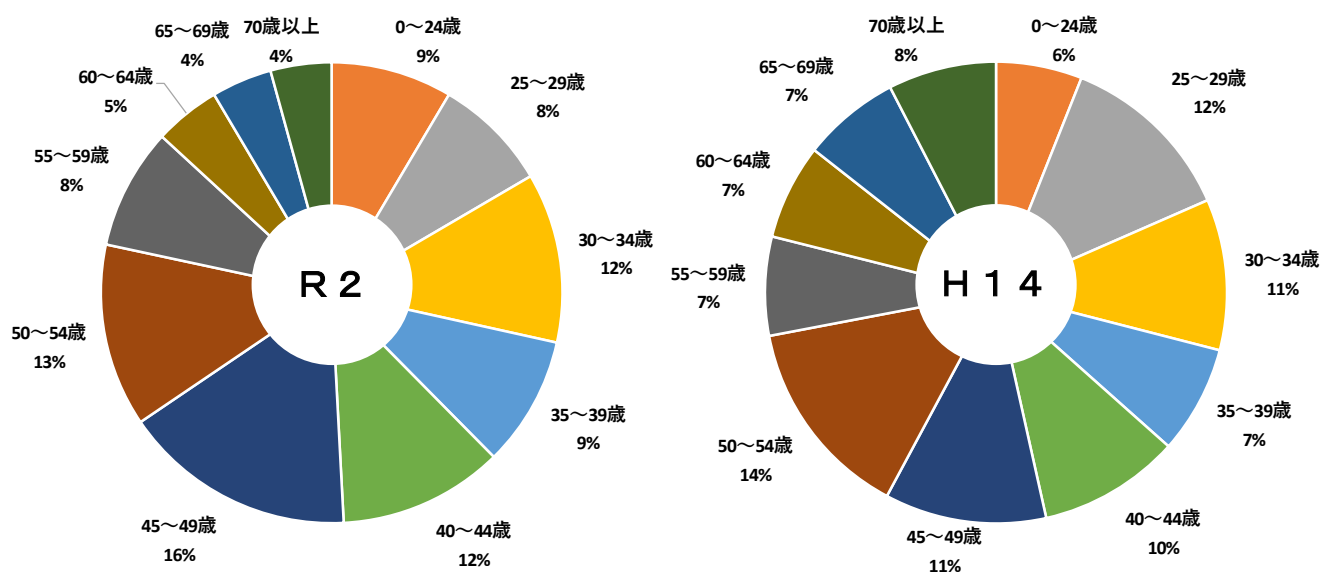
2 アンケート回答者の属性

市町別構成比



※市町村合併前(35市町村)の集計結果を現在の市町別に再集計

年齢構成比



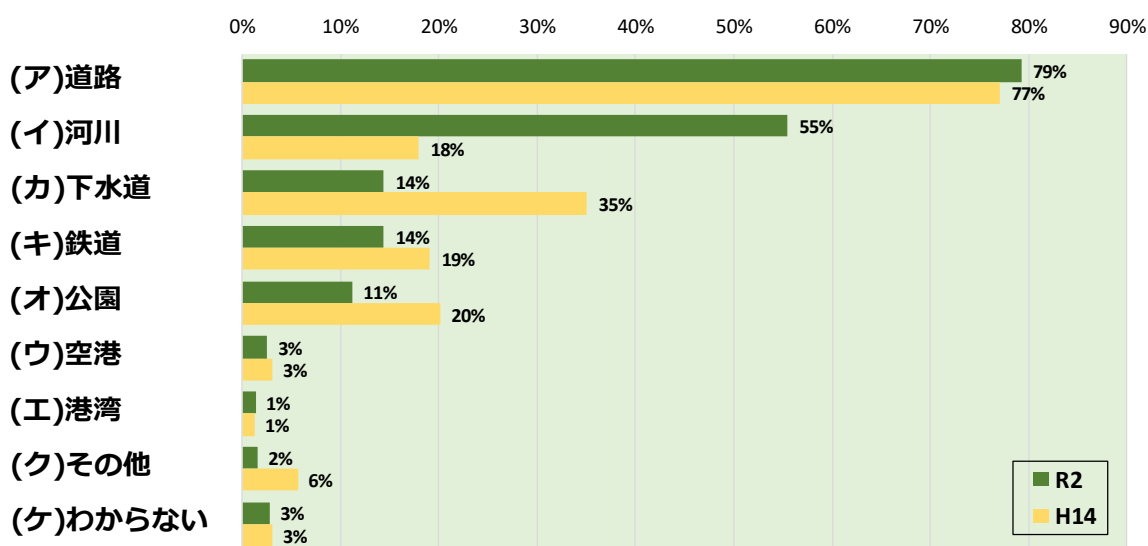
3 県民の道路に対する意識

○優先すべき基盤【問2】について

- ・道路がH14年から変わらず最も高い
- ・河川が伸びている（18%→55%）

優先すべき社会基盤

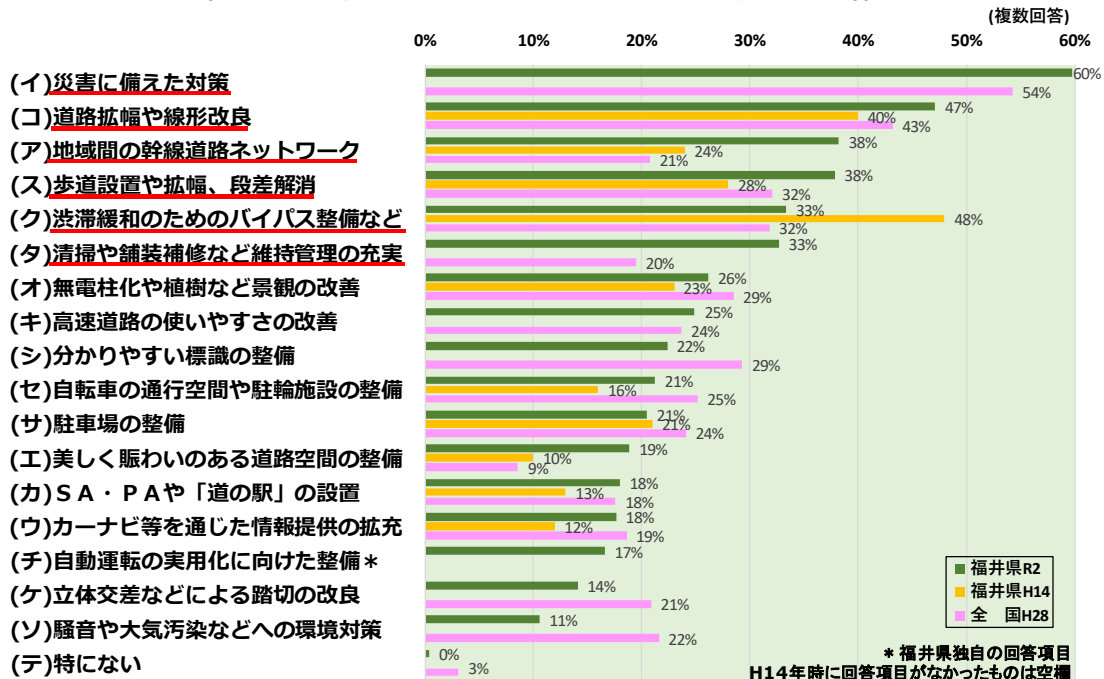
(複数回答)



○今後、力を入れてほしい道路整備【問13】について

- ・災害に備えた対策が最も多い
- ・道路拡幅、幹線道路ネットワーク、バイパス整備などハード対策が上位にきている
- ・歩道設置、段差解消がH14年から伸びており、歩行空間整備の意識が高まっている
- ・補修・修繕などの維持管理の充実も望まれている

問13 今後、力を入れてほしい道路整備

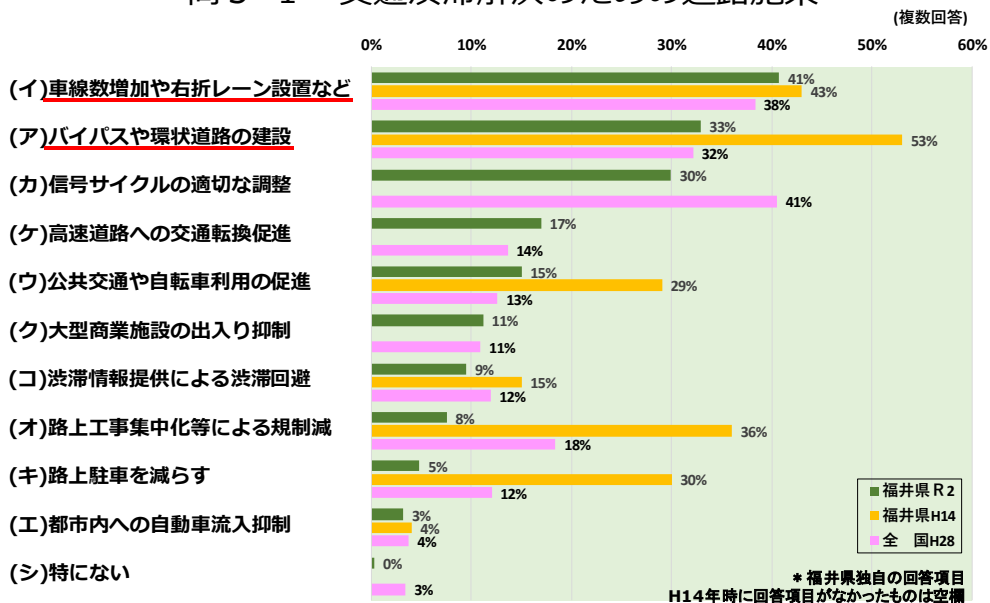


4 主な傾向

(1) 道路整備について

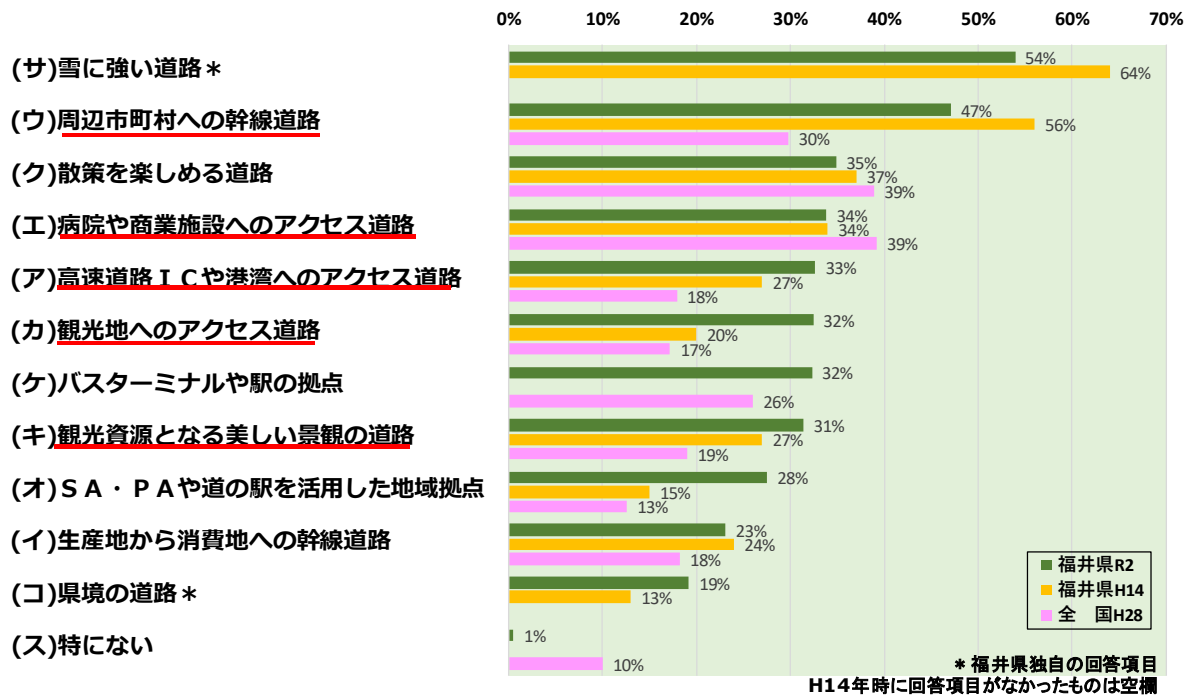
- ・渋滞対策【問3-1】、観光振興【問10】のための道路整備が望まれている
- ・活力ある地域づくり【問9】のため、通勤や通院、買い物など日常生活、高速ICや港湾へのアクセス道路など産業振興、観光地へのアクセス道路や美しい景観の道路など観光振興、において道路整備が望まれている

問3-1 交通渋滞解決のための道路施策



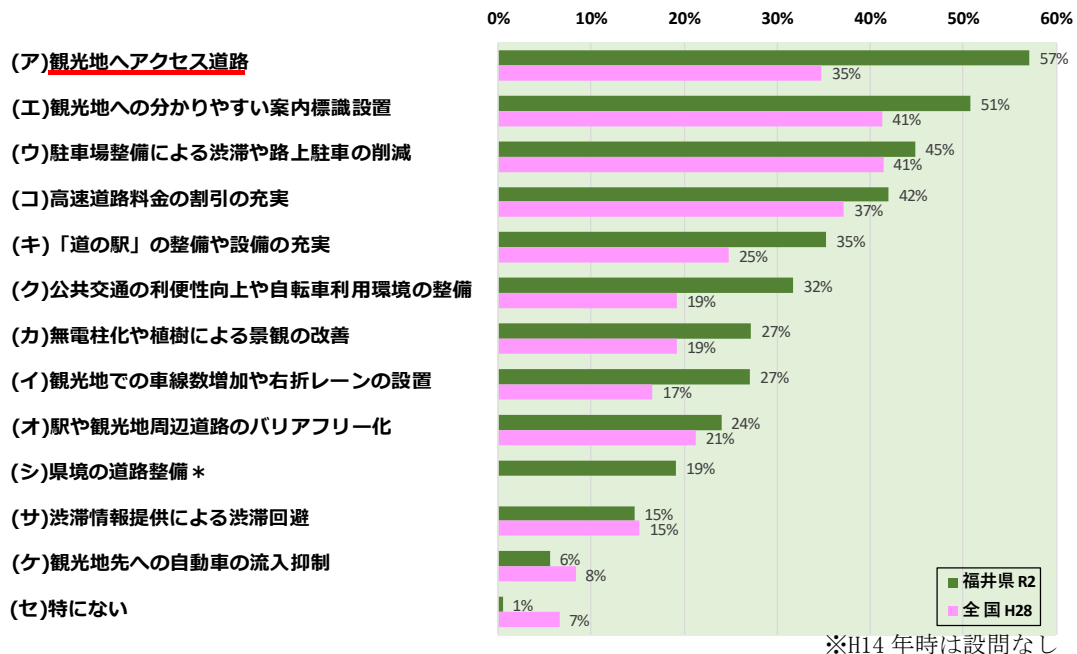
問9 活力ある地域づくりのための道路施策

(複数回答)



問10 観光振興のための道路施策

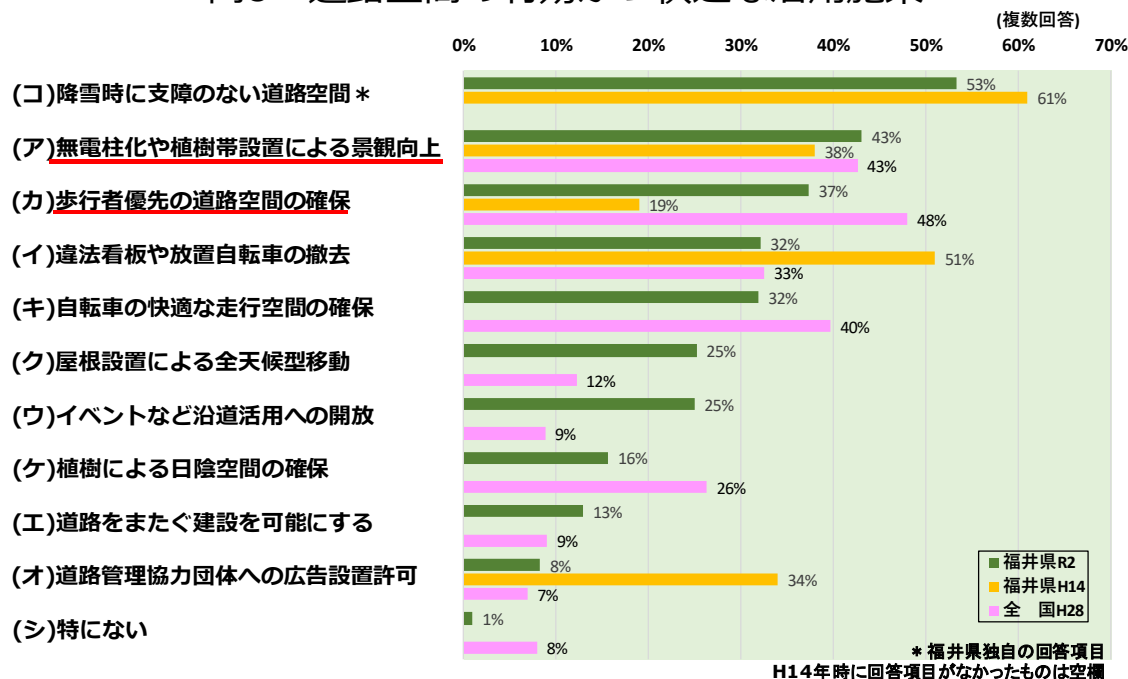
(複数回答)



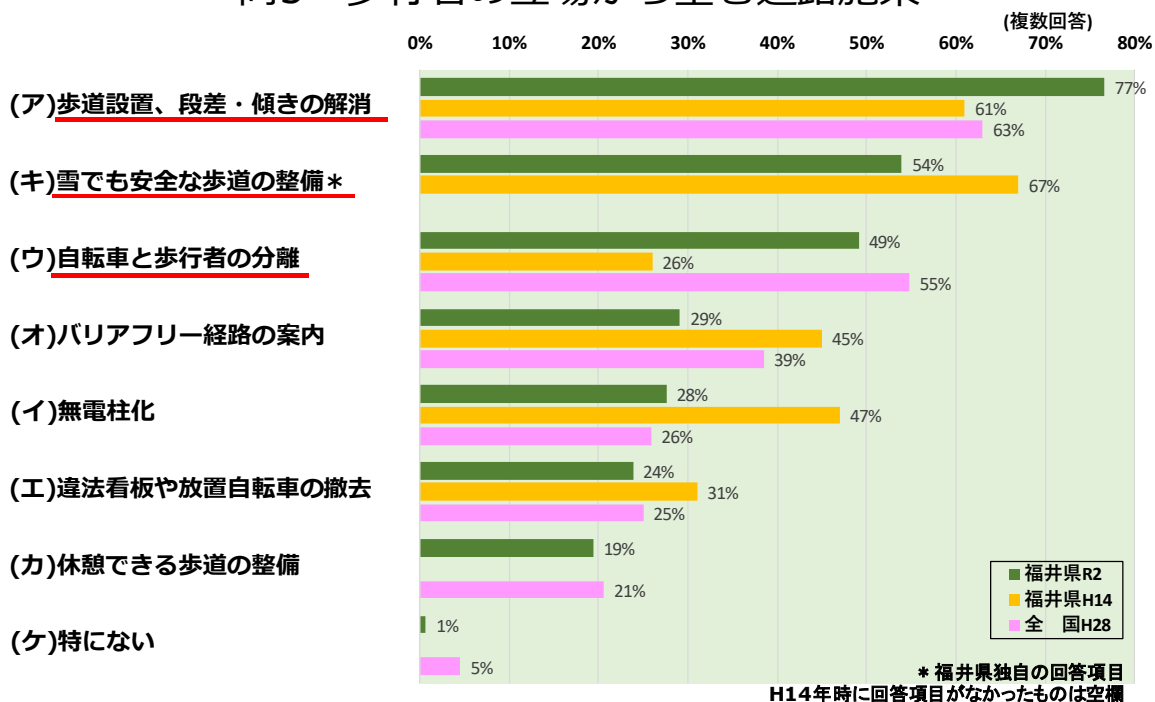
(2) 歩行者空間について

- ・道路空間の有効活用【問8】において、歩行者優先の道路空間の確保がH14年時(19%)から大幅に伸びている(37%)
- ・電線類の地中化や植樹帯設置などによる景観向上も重要と考えている
- ・歩行者の立場から望む道路施策【問5】において、歩道の設置や段差解消が77%と高い
- ・雪でも安全な歩道、自転車と歩行者の分離も半数近い要望があり、日常において、安全で快適に使える歩道が望まれている

問8 道路空間の有効かつ快適な活用施策



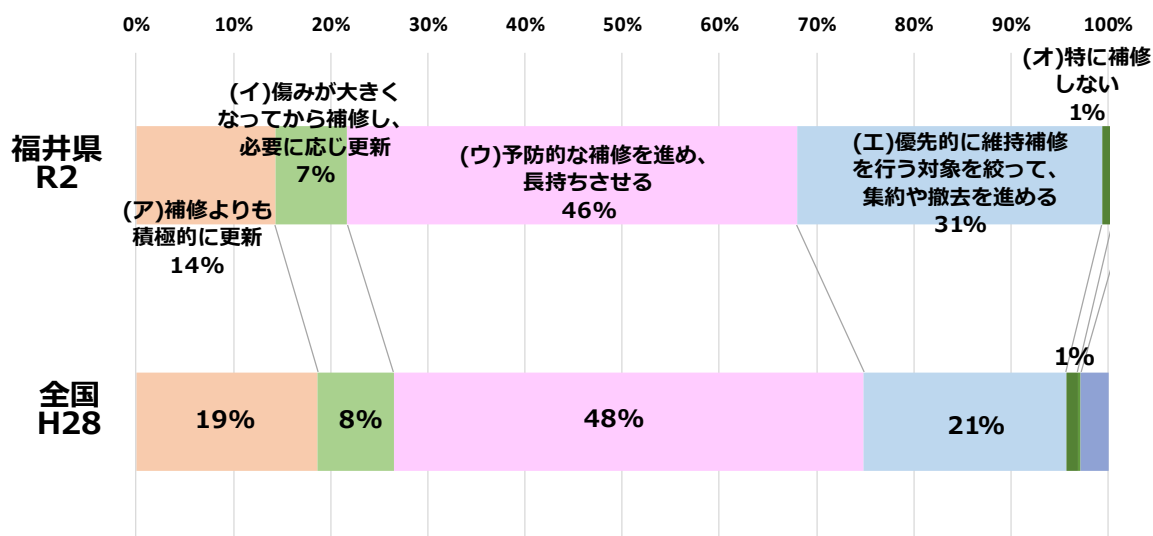
問5 歩行者の立場から望む道路施策



(3) 道路構造物の維持管理について

- ・老朽化が進んでいる橋梁などの道路構造物の維持修繕・更新の考え方【問11】について、更新よりも予防的な補修など、既存の施設を有効活用することが望まれている

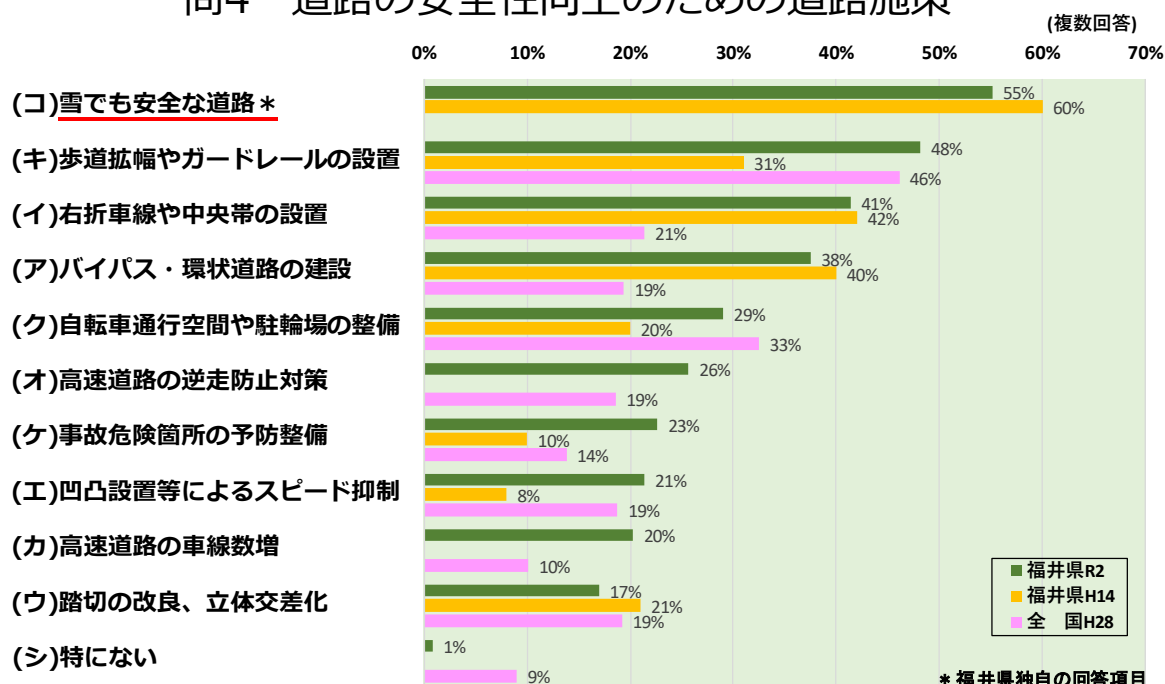
問11 道路構造物の維持修繕、更新の考え方



(4) 雪に強い道路について

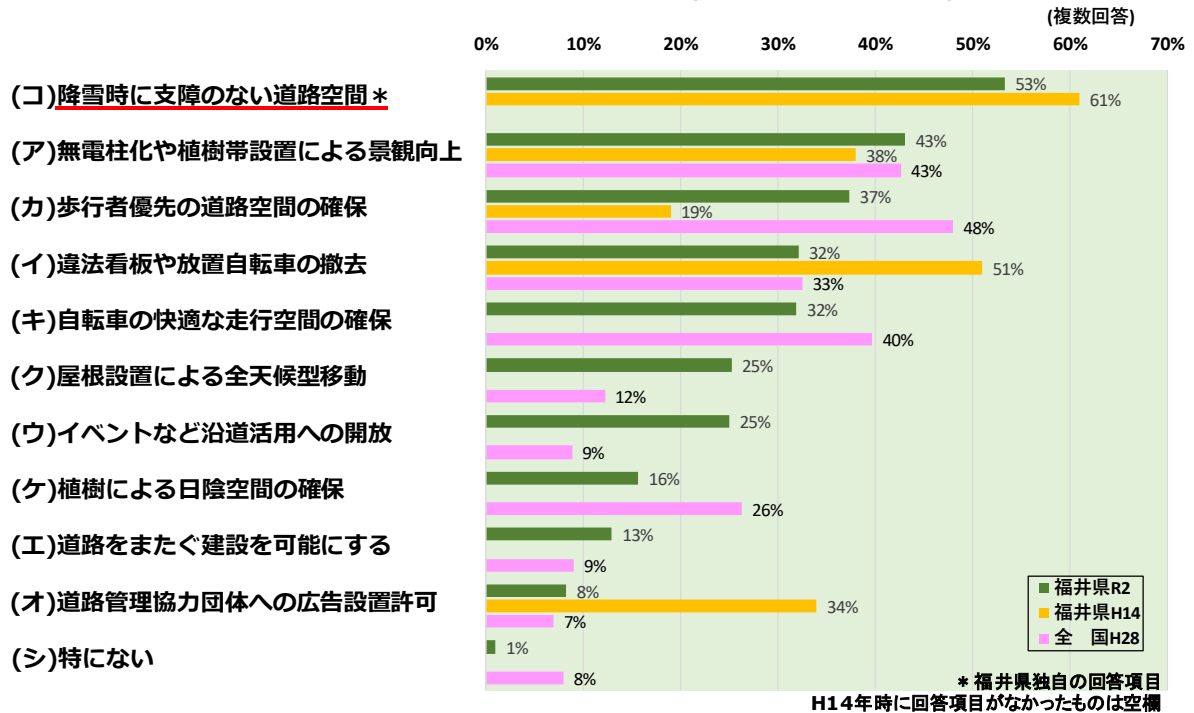
- ・安全性向上【問4】、道路空間の有効活用【問8】で上位にきており、降雪時でも、安全に快適に普段使いできる道路が望まれている
- ・活力ある地域づくり【問9】については、雪が負のイメージとならないよう雪に強い道路が望まれている

問4 道路の安全性向上のための道路施策



* 福井県独自の回答項目
H14年時に回答項目がなかったものは空欄

問8 道路空間の有効かつ快適な活用施策



問9 活力ある地域づくりのための道路施策

